

令和6年度に向けた利活用等の管理運営の方向性について

第1 管理方針

管理の基本方針として

- (1) 利用者に満足していただける管理
(ゴミが落ちていないクリーンな公園等)
- (2) 組織の能力を発揮した管理
(盛岡城跡公園と一体として利用できる公園等)
- (3) 地域との連携を図った管理
(地域のイベント開催支援等)
- (4) 組織内および関係者と情報共有・コミュニケーションを図った管理
(毎月の企画会議の開催による情報共有等)

第2 管理計画

(1) 管理の目標値

- ア 緑地内にプランターの設置 (33 基)
- イ 公園内の清掃をほぼ毎日実施
- ウ イベント開催への支援

(2) 目標値の達成方法

- ア 特定非営利活動法人緑の相談室の活動に賛同をいただいている「園芸クラブみどり」のボランティアの協力を得てプランターを設置、維持管理する。
また、広報等を活用し「園芸クラブみどり」の会員募集・確保にも努めていく。
- イ 清掃は事務局が担当して行う。また、市就労準備支援プログラム、保護観察所のボランティアの方々の協力も得て、清掃・除雪活動等を行う。
なお、市就労準備支援プログラムの方々は毎週月・水の午前中に活動予定である。
- ウ 内丸緑地における各種イベントに緑の相談室が側面から支援する。

(3) 今年度重点的に取り組む事項

- ア 巡視・施設の点検を継続的に行い、利用者の安全・安心に繋げる。
(施設の破損等)
- イ 施設が老朽化し補修の必要な箇所等について、県と協議していく。
(県庁側緑地裏亀が池傍の石積の崩落等)
- ウ プランターを設置して緑地の雰囲気をもくし、利用者に癒しの空間を提供する。
(花の盗掘が発生しないよう、小標板を設置するなどの方法を講じ、注視していくとともに、花愛護の普及・啓発に努める。)
- エ 令和元年7月1日(月)から緑地内は「全面禁煙」となり、入り口6か所に全面禁煙の立て看板を設置した。禁煙前と禁煙後と比較するに、禁煙後の方が「タバコのポイ捨て」は減少しているものの、ゼロとはなっていないことから、今後とも注視していくこととする。
- オ 地域の方々に、内丸緑地を活用した各種イベント開催を働きかけるとともに、開催を支援し地域の活性化に繋げていく。
- カ 盛岡城跡公園と一体となった、維持管理を行う。
- キ 災害発生、事故の発生等については、県へ連絡・協議するとともに情報を共有し対応していくこととする。
- ク 「内丸緑地の管理運営状況報告(清掃・点検等実施状況)」を毎月県へ提出する。